

二つのカレンダー、ひとつの約束
— シャブオットと聖餐式 —

2025年6月2日



アウトライン

- 【1】 シャブオット（七週の祭り）とペンテコステ（五旬節）
- 【2】 シャブオットの意味
- 【3】 ペンテコステの意味
- 【4】 暦のズレが教えること
- 【5】 聖餐式の意味に重ねて



2

【1】 シャブオット（七週の祭り）とペンテコステ（五旬節）

聖書には、神がイスラエルの民に命じた礼祭があります。

- ① 過越の祭り（ペサハ）
 - ② 種なしパンの祭り（ハグ・ハマツツオート）
 - ③ 初穂の祭り（ヨム・ハ・ビクリーム）
 - ④ 七週の祭り（シャブオット）
 - ⑤ ラツパの祭り（ヨム・テルーア）
 - ⑥ 贖罪の日（ヨム・キプール）
 - ⑦ 仮庵の祭り（スコツツ）
- 安息日（シャバット）

この礼祭の内、安息日
が最も回数が多く1年
に52回行われる。

3大巡礼祭

3

【7週の祭り】（シャブオット／ペンテコステ）

レビ記23：15～16

15 あなたがたは、安息日の翌日から、奉献物の束を持って
行った日から満七週間を数える。

16 七回目の安息日の翌日まで五十日を数え、あなたがた
は新しい穀物のささげ物を主に献げる。

日曜日

4

【1】 シャブオット（七週の祭り）とペンテコステ（五旬節）



すでに新約時代のユダヤ人は、

- ①「過越の祭り（1日だけ）」
- ②「種なしパンの祭り（7日間）」
- ③「初穂（大麦）の祭り（1日だけ）」

の3つを、1つにして「過越の祭りと言われる、種子なしパンの祭り」として祝ってた。

（ルカ22：1）

さて、**過越の祭りと言われる、種なしパンの祭り**が近づいていた

5

【1】 シャブオット（七週の祭り）とペンテコステ（五旬節）



【**過越しの祭り（ペサハ）**】

レビ記23:5

5 第一の月の十四日には夕暮れに過越のいけにえを主に
献げる。

【**種なしパンの祭り**】

レビ記23:6

6 この月の十五日は主への種なしパンの祭りである。七日
間、あなたがたは種なしパンを食べる。

6

【1】 シャブオット（七週の祭り）とペンテコステ（五旬節）



【**初穂の祭り（大麦の祭り）**】

レビ記23：10～11

10 「イスラエルの子らに告げよ。あなたがたがわたしが与え
ようとしている地に入り、収穫を刈り入れたなら、収穫の初穂
の束を祭司のところに持って行きなさい。

11 その束は主の前で揺り動かす。あなたがたが受け入れら
れるためである。祭司は**安息日の翌日**、それを揺り動かさなけ
ればならない。

7

【1】 シャブオット（七週の祭り）とペンテコステ（五旬節）



ユダヤ暦のシャブオット：**6月2日（月）**

キリスト教カレンダーのペンテコステ：**6月8日（日）**

本来は同じ日 → 今年は一週間のズレ

でも…神のご計画は変わらない

8

【2】 シャブオット（七週の祭り）の意味



- 収穫を感謝する祭り
- シナイ山で律法が与えられた日

出エジプト19:1

1 エジプトの地を出たイスラエルの子らは、第三の新月の日にシナイの荒野に入った。

過越祭（出エジプトの出来事）から50日後にシナイ山に着いたと、ユダヤ教のラビたちは計算します。

そのため、「シャブオット（七週の祭り）」が律法授与の日と結びつけられるようになりました。

9

【3】 ペンテコステの（五旬節）の意味



- 使徒たちに聖霊が注がれる

使徒2:1-4

- 1 **五旬節の日**になって、皆が同じ場所に集まっていた。
- 2 すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。
- 3 また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。
- 4 すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。

10

【3】 ペンテコステの（五旬節）の意味



- 五旬節は、レビ記で規定されたシャブオット

使徒の働き1:3

- 3 イエスは苦しみを受けた後、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。四十日にわたって彼らに現れ、神の国のことを語られた。
- 4 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。
- 5 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

イエスの昇天（復活後40日）→弟子たちはエルサレムで約10日待機→五旬節（50日目）に聖霊が降臨。

11

【3】 ペンテコステの（五旬節）の意味



- 律法による契約から、御霊による契約へ

エレミヤ31:31-34

- 31 見よ、その時代が来る——主のことば——。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、新しい契約を結ぶ。
- 32 その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った——主のことば——。

12

【3】ペンテコステの（五旬節）の意味



33 これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——主のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

34 彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるからだ——主のことば——。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。」

13

【3】ペンテコステの（五旬節）の意味



第2コリント3:6

神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下さいました。文字に仕える者ではなく、御霊に仕える者となる資格です。文字は殺し、御霊は生かすからです。

14

【4】暦のズレが教えること



- ユダヤ暦と西暦・教会暦の違いによって生じる「ズレ」。
- しかし、神のご計画は常に正確に、すべての民に及ぶ。
- ズレは、ユダヤ人と異邦人、すべての人に救いが開かれていることの象徴でもある。

15

【4】暦のズレが教えること



ローマ11:25

25 兄弟たち。あなたがたが自分を知恵のある者と考えないようにするために、この奥義を知らずにいてほしくはありません。イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時が来るまでであり、

26 こうして、イスラエルはみな救われるのです。「救い出す者がシオンから現れ、ヤコブから不敬虔を除き去る。

27 これこそ、彼らと結ぶわたしの契約、すなわち、わたしが彼らの罪を取り除く時である」と書いてあるとおりです。

16

【4】 暦のズレが教えること



ローマ11:18

- 17 枝の中のいくつかが折られ、野生のオリーブであるあなたがその枝の間に接ぎ木され、そのオリーブの根から豊かな養分をともに受けているのなら、18 あなたはその枝に対して誇ってはいけません。たとえ誇るとしても、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えているのです。
- 19 すると、あなたは「枝が折られたのは、私が接ぎ木されるためだった」と言うでしょう。
- 20 そのとおりです。彼らは不信仰によって折られましたが、あなたは信仰によって立っています。思い上がることなく、むしろ恐れなさい。

17

【5】 聖餐式の意味に重ねて



- 聖餐式は、イエスが新しい契約を成立させたことを記念するもの。
- シャブオットもペンテコステも、「与えられたもの」を感謝して受け取る祭り。
- パンと杯をいただくごとに、「私たちは新しい契約の民」「聖霊により歩む新しい人生」を思い出す時。

暦の違いを超えて、主の十字架と復活、聖霊の賜物に感謝を捧げよう。

18

【聖餐式】



1. キリストを記念すること

- ・パンで主イエスをぶどう酒で新約のしるしである血が象徴していることを記念する
- ・無から有を作り出すお方
- ・命の源

2. キリストの再臨の保証の確認

- ・一度限りで完璧に捧げられた死を記念し 再臨の時までそれを告げ知らせる

3. キリストとの交わり、信者との交わりの恵

永遠の絆

(レビ17:11)

11 実に、肉のいのちは血の中にある。わたしは、祭壇の上であなたがたのたましいのために宥めを行うよう、これをあなたがたに与えた。いのちとして宥めを行うのは血である。

19

【聖餐式】



第1コリント11:23-29

- 23 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、
- 24 感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」
- 25 食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」

20



- 26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。
- 27 したがって、もし、ふさわしくない仕方でパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して罪を犯すこととなります。
- 28 **だれでも、自分自身を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。**
- 29 みからだをわきまえないで 食べ、また飲む者は、自分自身に対するさばきを食べ、また飲むことになるのです。



- 「主のからだ」とは、イエスの犠牲と教会の共同体両方を意味する。
- 形式的・自己中心的・無感謝な態度で聖餐を受けることが戒められている。
- 自分の罪、また他の信者との関係を吟味して、悔い改め、赦しと愛を感謝して受けるのがふさわしい態度。



(マルコ14 : 22)

22 さて、一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、神をほめたたえてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしのからだです。」

(マルコ14 : 23)

23 また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、彼らにお与えになった。彼らはみなその杯から飲んだ。

24 イエスは彼らに言われた。「これは、多くの人のために流される、わたしの契約の血です。」